

(西暦) 2024年3月30日

【肝胆膵領域の腫瘍性病変についての多施設後方視的臨床研究】

のため、当院に入院・通院されていた

患者さんの診療情報を用いた臨床研究に対するご協力のお願い

実務責任者 所属 外科
氏名 亀山 哲章

このたび当院では、上記のご病気で入院・通院されていた患者さんの診療情報を用いた下記の研究を実施いたしますので、ご協力をお願いいたします。この研究を実施することによる患者さんへの新たな負担は一切ありません。また患者さんのプライバシー保護については最善を尽くします。本研究への協力を望まれない患者さんは、その旨、上記実務責任者までご連絡をお願いします。

1 対象となる方

2024年3月31日までの間に、一般・消化器外科にて肝胆膵領域腫瘍性病変の診断または治療のために入院・通院し、診療を受けた方

2 研究課題名

肝胆膵領域の腫瘍性病変についての多施設共同後方視的臨床研究

3 研究実施機関

本研究は、多施設共同研究です。立川病院 外科、及び下記の施設を対象としています。

慶応義塾大学病院、那須赤十字病院、済生会宇都宮病院、国立病院機構栃木医療センター、佐野厚生総合病院、足利赤十字病院、太田記念病院、水戸赤十字病院、東京歯科大学市川総合病院、国立病院機構埼玉病院、さいたま市立病院、埼玉メディカルセンター、永寿総合病院、東京医療センター、荻窪病院、北里研究所病院、共済組合立川病院、日野市立病院、多摩丘陵病院、公立福生病院、稲城市立病院、川崎市立川崎病院、川崎市立井田病院、伊勢原協同病院、済生会横浜市東部病院、けいゆう病院、国際親善総合病院、平塚市民病院、浜松赤十字病院、東京医科大学八王子医療センター、東京医科歯科大学、東京女子医科大学、横浜市立大学、聖マリアンナ医科大学

4 本研究の意義、目的、方法

肝胆膵領域の悪性腫瘍は一般的に治療が難しい「難治癌」として知られています。最も有効な治

療法は手術による切除であることが多く、これまでも手術された症例についての情報蓄積によって技術・戦略ともに発展してきましたが、まだまだ向上する余地がある分野です。また一方で、化学療法・放射線療法などの技術の進歩により、手術だけでなくそれらを用いた集学的治療も行われています。今後も研究によって、さらなる病態解明や治療法の開発・向上が求められています。また、癌という悪性疾患でなくても、頻度が低いため病態が十分解明できず、治療が難しい病気も数多くあります。そのため我々は、過去に治療された患者様の情報を集め、統計学的に検証を行うことを目的としております。

5 協力をお願いする内容

過去に治療された患者様の診療録・画像データを閲覧し、データを集積した後に解析を行います。患者さんの診療録のみを使用させていただくため、患者さんに新たなご負担をおかけすることはありません。

6 本研究の実施期間

倫理委員会承認後 ～ 2024年3月31日（予定）

7 プライバシーの保護について

- 1) 本研究で取り扱う患者さんの個人情報、氏名と患者番号のみです。その他の個人情報（住所、電話番号など）は一切取り扱いません。
- 2) 本研究で取り扱う患者さんの診療情報は、個人情報をすべて削除し、第三者にはどなたのものかわからないデータ（匿名化データ）として使用します。
- 3) 患者さんの個人情報と匿名化データを結びつける情報（連結情報）は、本研究の個人情報管理者が研究終了まで厳重に管理し、研究の実施に必要な場合のみに参照します。また、研究終了時に【または倫理委員会に承認された破棄時点で】完全に抹消します。
- 4) なお連結情報は当院内のみで管理し、他の共同研究機関等には一切公開いたしません。

8 お問い合わせ

本研究に関する質問や確認のご依頼は、下記へご連絡下さい。

本試験の実務担当医師：亀山 哲章（国家公務員共済組合連合会 立川病院 外科）
連絡先：住所：〒190-8531 東京都立川市錦町4-2-22
電話：042-523-3131（平日9:00～17:00）

※担当医師または一般・消化器外科の医師を呼び出してください。

以上